

令和5年度 全国学力・学習状況調査 ～金沢小学校の結果～

今年度6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の教科別の平均正答率や生活習慣・学習習慣の調査結果が公表されました。全国と比べた本校の調査結果の概要をお知らせします。

教科別学習状況調査(全国の正答率と比較して結果に特徴のある問題)

【国語】

○全国平均正答率を上回った主な問題

- ・文章の種類とその特徴について理解する
- ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う
- ・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉えることができる

●全国平均正答率を下回った問題

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
- ・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる

【算数】

○全国平均正答率を上回った問題

- ・比例関係を用いて、知りたい数量の大きさを求めることができる
- ・わり算の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができる

●全国平均正答率を下回った問題

- ・正三角形の意味や性質について理解する
- ・百分率で表された割合について理解する

生活習慣・学習習慣 質問紙調査結果(全国の割合と比較して特徴のある設問)

【生活について】

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも高い。
- 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」という設問について、「よくある」「ときどきある」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも高い。
- 「将来の夢や目標を持っていますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも低い。

【学習について】

- 「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも高い。
- 「学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも高い。
- 「読書は好きですか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも低い。

授業改善に向けて

- ・語彙力をつけること、学習した漢字が活用できないことが課題です。スキルタイムなどで漢字の定着を図るとともに、読書活動を積極的に取り入れ、様々な文章や表現に触れ、語彙を増やせるようにします。
- ・計算方法は知っているが、なぜそうなるのか、出た答えは何を求めているものなのかというところまで理解できている児童は少ないようです。計算だけでなく、その過程を大切に、理解を深めていきます。

児童支援の充実に向けて

- ・自分の思いを素直に表現したり、自分を肯定的に受け止めたりすることが苦手な児童がいます。一人ひとりの実態に合わせた支援を充実させていきます。
- ・将来の自分について、夢や目標をもって考える機会を意図的に設けていきたいと思います。自分の力を生かして自信をもってチャレンジできるように、一人ひとりの思いをとらえて励ましていきます。